



地元の棚田米や果物をいかした“地酒”が誕生
 市内の蔵元(株)いそのさわが地場の素材をいかして、「うきはテロワールシリーズ」と名付けた商品を開発しました。写真=3月12日、高木泰三郎社長(左)が高木市長を訪問。左から、棚田米の日本酒、日本酒ベースの葡萄リキュールと梨リキュールの3商品。



「楠森河北家住宅」で伝統行事「壁結」
 3月2日、浮羽町山北の国登録有形文化財「楠森河北家住宅」で、伝統行事「壁結かべゆい」が行われました。屋敷を取り囲む竹垣を交換する作業で、竹と荒縄だけを用いた昔ながらの技法は地域の協力も得ながら、300年以上大切に受け継がれています。



浮羽究真館高校で、中学生がラグビーの熱戦
 中学生のラグビー大会「第4回浮羽究真館カップ」が、2月24日浮羽究真館高校で開催され、8クラブが熱戦を繰り広げました。同校は、今年の県高校ラグビー新人大会で過去最高の4位に入るなど躍進中です。



第19回田箆ヤマメの里まつり
 3月24日、田箆ヤマメの里まつり(田箆地区自治協議会主催)が隈の上川上流で開催されました。訪れた人たちは清流での釣りを楽しんだり、ヤマメの塩焼きを味わったりと山里の春を堪能しました。



くらしのアドバイザーへ感謝状贈呈
 うきは市合併当初より、市民の消費生活の安定及び向上にご尽力された、くらしのアドバイザーの皆様へ、3月25日、感謝状を贈呈しました。左から=高木市長、木村フジコさん、河内秀夫さん、杉良子さん、岩瀬和枝さん、岩佐任美子さん



道の駅うきは加工部会が被災地支援に寄付金を贈呈
 道の駅うきはに加工品を出荷する生産者のみなさんが、昨年6月からはじめた売上げの一部を平成29年7月九州北部豪雨災害の被災地支援に寄付する取組で、3月26日、道の駅うきは店頭で日本赤十字社福岡県支部に総額15万円を贈呈しました。



五色百人一首県大会で入賞 3月2日、第11回五色百人一首福岡県チャンピオン大会が開催され、うきは市民大女子ども未来学部百人一首・五色かるた部から地区大会を勝ち抜いた12名が出場し、6名が入賞しました。
入賞者の紹介 写真左：(左から) 杉結理奈(黄札準優勝)、大山愛莉(緑札準優勝)、写真中：(左から) 松田悠奈(青札優勝)、飯田こはる(青札3位)、写真右：後列左端、鎌水杏子(赤札優勝)、後列中央 末吉永樹(オレンジ札3位) ※敬称略